

■ 学会移行に寄せて ■

## 研究会から学会へ

エネルギー・資源学会会長  
東京工業大学前学長  
田 中 郁 三



皆様御高承の通り、このたび第11回定時総会（平成2年4月18日（水）大阪国際交流センターにて開催）におきまして規約改正が施され、エネルギー・資源研究会はエネルギー・資源学会と名称を改め、新しいスタートを切ることになりました。機関誌「エネルギー・資源」の表紙デザインも本号より刷新されていることに御気付きのことかと思えます。折しも本年は創立10周年にあたり、盛大に記念式典（平成2年2月9日（金）日本プレスセンターにて開催）が実施されましたことは会員の皆様の御記憶にも新しいことと存じます。丁度この様な節目の時機に将来の発展を願って、研究会を学会に名称変更いたしましたことは過去の数々の実績から申しまして極めてタイムリーなものと確信いたしております。ふりかえりますと昭和55年4月に研究会が発足いたしました当時の初代会長の前田四郎先生（元東北大学学長）、次の会長をお引き受けになられた故水科篤郎先生（京都大学名誉教授）の御両人はこの会の創立者とも申すべき方々で、当時の御苦労は並大抵ではなかったものと思われまふ。また本会が、その後社会的に存在意義のある団体として成長出来ましたのも、会員諸氏はじめ関係各位の御協力の賜ものであり厚く御礼申し上げます。

今後は会員の皆様方とともに、のびやかな運営を行うという創立時の精神を生かしながら、世界の情勢の変化に敏感に対応してまいり、それなりの体制も整え、エネルギー問題、資源問題、そして環境問題と我が国にとって、必須の重要かつグローバルな課題に真剣に取り組み、未来社会のために警鐘を鳴らし、解決の糸口を見出だすことが出来ればと願っております。会員の皆様におかれましては、一層の御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げ、研究会から学会に名称を変更致しましたことの御報告とさせていただきます。

